

環境設備 演習2

「得点できたかどうか」「○か×か」ではなく、問題文を読んだ時に、「その関連の知識が、頭の中にどう収納されているのか、フォーカスポイントはどこか」を簡単に**余白に描き出して**みてください

ウラ模試 1

[No.7] 日照・日射・採光に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 北緯 35 度の地点における南向き鉛直壁面の 1 日の可照時間は、冬至の日よりも、夏至の日の方が短い。
2. 窓面における日照・日射の調整のために設けるルーバーは、一般に、南向き窓面には水平のものが、西向き窓面には垂直のものが有効である。
3. 日射遮蔽係数は、3 mm 厚の普通透明ガラスの日射遮蔽性能を基準として表した係数であり、その値が大きいくほど日射熱取得が小さくなる。
4. 一般的な透明板ガラスの分光透過率は、可視光線の波長域より赤外線の高波長域のほうが小さい。

[No.11] 音響に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 施工性に優れるボード直張り工法(コンクリートにせっこうボードを接着剤で点付けする方法)は、せっこうボードを張り付けることによって壁体全体の面密度が高くなるにもかかわらず、一般に、遮音等級 D による評価は低下する。
2. 透過率は、「壁へ入射する音のエネルギー」に対する「反射されなかった音のエネルギー」の割合であり、透過損失は、透過率の逆数を「dB」で表示した値である。
3. 単層壁の遮音において、同一の材料の場合、壁の厚さが厚いほど、コインシデンス効果による遮音性能の低下は、より低い周波数域で発生する。
4. 多孔質吸音材料を剛壁に取り付ける場合、多孔質吸音材料と剛壁面との間の空気層を厚くすると、一般に、低音域の吸音率が高くなる。

ウラ模試 2

[No.8] 日照・日射に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 光ダクトは、採光部から目的の空間まで自然光を運ぶものであり、水平方向だけではなく、鉛直方向でも設置される。
2. 日射を受ける外壁面に対する相当外気温度 (SAT) は、表面近傍の風速が大きくなるほど低くなる。
3. CIE 標準曇天空では、天頂に対する相対的な輝度分布は、方位にかかわらず、高度のみにより決まる。
4. 冷房期の平均日射熱取得率は、「ガラスに入射した日射量」に対する、「ガラスを透過した日射量と、一旦ガラスに吸収され室内側に放射される熱量の合計」の割合で表される。

[No.9] 音響に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 低音域共鳴透過現象は、一般に、中空二重壁等において生じる現象であり、単層壁では生じない。
2. 環境基本法に基づく騒音に係る環境基準において、「道路に面する地域」以外の地域における夜間の基準値は、昼間の基準値に比べて 10dB 低い値とされている。
3. 音の大きさの感覚量は、音圧レベルが一定の場合、一般に、3~4kHz 付近で最小となる。
4. カラレーションは、「直接音」と「短い遅れ時間の反射音」の干渉によって、音色の変化等が知覚される現象をいう。